

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果				公表日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	6	必要最低限の物のみ設置しており、できる限り広く使えるような空間作りを行っている。また、時間帯によっては別の階で過ごせるようにしている。	クールダウンが必要になった方が過ごすスペースの確保が必要。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	6	利用者のその日の様子をスムーズに把握し、職員間で細かな情報まで共有して連携を取り、対応をしている。	学校の先生からの聞き取りが不十分な時の利用者への対応。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	室内には、必要な物のみ配置している。また、階段での移動が必須であるため、子供用に高さの低い手すりを設置している。階段での移動の際は職員が必ずつくようにしている。	雨天時の階段の上り下りの安全性。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	利用者の刺激にならないように壁面等の環境設定には配慮している。また、半年に1回、法人全体で点検があり、施設全体を清潔に保てるようにしている。	活動内容に合わせた空間の確保。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		別の階や別室など、対応できるようにしている。		
	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		全職員が参画できるように設定している。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		全職員が把握したうえで話し合いの場を設けている。そこから改善につなげられるようにしている。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		意見を言いやすい雰囲気作りをしており、様々な意見を聞きながら検討している。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		良い評価、悪い評価を受け止め、第三者の意見を聞きながら改善ができるようにしている。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		法人内の研修については、研修を受ける職員が偏らないようにしている。また、様々な研修の案内を知らせ、受けやすい環境作りを行っている。		
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		内容が偏らないように様々なプログラムを設定しながら行っている。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		保護者のニーズを聞き取りながら作成をしている。また、保護者がどのようなことでも言いやすい雰囲気を作っていくことを意識している。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		児童発達支援管理責任者が作成した支援計画を支援員が確認し、検討を重ねた上で本計画の作成を行っている。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援計画の完成時にはミーティングで詳しく伝え、職員全員で共通理解をし、そこから適切な支援ができるようにしている。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		毎日のミーティングでは発達検査の結果や日々の行動について全員で確認をしている。また、口頭のみではなく記録として残すことで振り返りやすくしている。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的	8		児童発達支援管理責任者が作成した支援計画を支援員が確認し、より具体的な支援内容を設定するために検討を重ねて本計画の作成を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	利用者が興味を持ったものや興味が乗らなかったものを職員間で共有しながら様々なプログラムを設定している。	立案自体は個人で行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		5領域に沿いながら固定化しないように様々な意見を取り入れながらプログラムを行っている。また、長期休みには普段の活動ではできないような買い物や調理実習、工場見学などを取り入れている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別活動や小集団活動での様子を聞きながら集団活動での様子と組み合わせて一人一人に寄り添った計画を作成している。その計画を基に情報を共有しながら支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎日のミーティングで様々な情報を共有し、支援の方向性を確認しながら職員全体で連携を取っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	職員の退勤時間が異なるため、翌日朝のミーティングで前日の支援についても必ず振り返りを行っている。どのような事でも言いやすい雰囲気作りを心掛けている。	支援終了後に振り返りの実施はできない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		どのようなことでも支援に関して記録を取ることを徹底しており、いつでも振り返りやすいようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		最低半年に一回のモニタリングで定期的に支援計画の見直しを行っている。また、保護者の要望により見直しの期間を短くすることもある。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7		4つの基本活動を組み合わせながら、充実した活動を提供できるようにしている。また、活動内容を振り返りながら反映している。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てる為の支援を行っているか。	7		すぐに答えを与えるのではなく、自分自身で考える機会を設けるようにしている。また、自分の考えに自信のない利用者に対しては、前向きな気持ちになれるような関わりを持つようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		より理解を深めるために、常に職員全体で情報の共有をしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		学校の先生と連絡を取り合うことで連携し、支援を統一できるようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校の先生と積極的に関わりを持つことを大切にしている。やり取りの中での情報においては職員間で共有できるように記録として残している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		保護者の許可を得た上で、活動プログラムや支援内容等を記載した物を提供している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		保護者の許可を得た上で、活動プログラムや支援内容等を記載した物を提供している。	

関係機関や保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	4	明石市こども部会に所属しており、月に一度の連絡会に参加している。そこで他事業所と情報交換や場合によっては助言等を受けることができる。	子ども部会以外での他事業所との関わりがあまりないこと。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域のほかの子どもと活動する機会があるか。	2	5	共に活動をする機会を設けることは出来ていない。	一緒に活動をする場を設けることはできていない。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	明石市こども部会に所属しており、月に一度の連絡会に参加している。また、こども部会の委員として活動している。	引き続き、積極的に参加する。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		降所時にはその日の様子を伝えるようにしている。保護者がどのような事でも話しやすい雰囲気を作るようし、その時の様子や課題を把握できるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	コロナ後、実施していなかったが、今年度より開催する。保護者の取り入れてほしい内容を把握して、家族支援プログラムや研修の内容に活かしていく。	保護者が求める研修内容の把握。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		口頭のみではなく、実際に体験いただきたり、紙面を用いて説明をするなどして、分かりやすい説明を心掛けている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		モニタリングの際に細かく話を聞きながら保護者や本人の意向を確認している。また、その際には言いやすい雰囲気を作れるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		保護者に分かりやすい文言を用いて作成をし、説明をしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		保護者から相談があればその都度対応をしている。また、一度で終わりではなく、定期的に保護者に声をかけながら必要に応じて行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	コロナ後、実施していなかったが、今年度より開催する。保護者の取り入れてほしい内容を把握し、交流する機会を設ける。	多くの保護者が参加したいと思えるような内容の企画を実施する。
	41	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		保護者から相談があればその都度対応をしている。また、兄弟を連れてきた場合には兄弟を対応する職員を配置し、話に集中しやすいようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		通信の発行やブログのアップを行い、情報の発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報は鍵付きのボックスに入れている。また、併用している園とのやりとり等で情報が必要な場合は、保護者に必ず確認を取っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		利用者とは簡単なことばや絵カード、選択肢を与える方法を用いてやりとりを行っている。保護者との伝達においても口頭のみではなく書面で対応するなどしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4	事業所の行事はないが自治会に入り、積極的に関わりを持つようにしている。	地域の方々と交流を持つこと。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		防災訓練を毎月1回行う中で、振り返りをし、反省点を次の訓練で改善できるようしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		災害時に持ち出す物の確認は月に1回行う。また、訓練を行うことで職員自身が危険意識を常に持てるようにしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	1	保護者からの聞き取りを行い、注意点や対応等を確認している。また、薬は手渡しでの預かりを徹底しており、管理についても職員全員で把握するようにしている。	予防接種の受診の把握。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		保護者の方からの聞き取りなどを踏まえて、対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		委員会主導の下、研修を定期的に行っている。研修に参加した職員が事業所の職員全員に共有をし、その都度安全管理についての確認を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		保護者との連携がとれるように詳細を伝えている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		記録として残し、再発防止の為の対応を必ず職員全員で確認している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		委員会主導の下、研修を定期的に行っている。研修に参加した職員が事業所の職員全員に共有をしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		やむを得ず身体拘束を行う場合には検討委員会にあげるようにする。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの海大久保駅前センター		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 8日	～	2024年 8月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年 8月 19日	～	2024年 8月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置について	指定基準より多くの人員を配置している。	職員間で連携を取りながら、一人一人に応じた計画を作成し、支援を行っていく。
2	様々なレクリエーションを提供している	長期休暇の際には普段できない外出レクや調理レクなどを行っており、様々な経験をすることで子供たちの普段見られないような姿を保護者にお伝えしている。	保護者や利用者に要望を聞きながらレクリエーションを計画していく。
3	保護者のニーズに合わせた利用ができる	学校が代休や長期休暇の際には朝から預かるなど、保護者の希望に応じて預かっている。	保護者の要望を聞きながらできるだけ預かりニーズに対応できるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所のバリアフリー化	施設内の移動には階段が必須である。	移動の際には、職員が必ず付き添い、ペースを合わせる。また、お迎えの際に階段の上り下りが困難な方がいる場合には、利用者と一緒に玄関までおりる。
2	家族支援プログラムや研修会、情報提供の機会	実施していなかったため。	保護者が来やすいテーマや複数日の設定を検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		保護者等からの事業所評価の集計結果						
事業所名		公表日 令和7年 2月 1日						
		利用児童数 24						
		回収数 15						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13			1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2		2	・様子が見られないで、どんな環境で過ごしているか分からないので、「わからない」にした。 ・事業所の設備等はとても配慮されていると思います。	面談時等、施設に来られた際に部屋の様子を見ていただき、説明します。構造上、バリアフリー等難しいことがあるが、現状取り組んでいることを改めてお伝えしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1		2	・様子が見られないで、どんな環境で過ごしているか分からないので、「わからない」にした。 ・広々とした空間で活動しやすいと思います。	出来る限りの環境設定を行っていることをお伝えしていきます。そのうえで、さらに保護者の方に寄り添いながらご希望等を伺い、対応をしていきます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14			1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1				
	7	子どものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				・保護者でも気付かないところに注目し、助言してくれる。また、それが計画に活かされている。	今後も保護者と情報を共有していきながら計画を作成していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	15				・具体的な支援内容です	今後も保護者の方と情報を共有していきながら、一人一人に寄り添った支援内容を設定していきます。また、変更があった場合は再度お伝えしていきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14			1	・長期休み時などは活動内容がとても楽しみな様子。 ・とても工夫されています。	今後も楽しんでいただけるような様々な活動を取り入れていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	5		3		現状としては難しいですが、強い希望があれば検討していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15				分かりやすい説明です。	今後も保護者の方に分かりやすく説明していくことを心掛けていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	2			一度は参加してみたいです。	参加したいと思っていただけるような内容を設定していくとともに参加しやすい雰囲気を作り出しています。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1			その日の出来事をこと細かく説明してくれます。	保護者が伝えやすい雰囲気作りを行っています。また、保護者に現状をお伝えしながら共通理解に努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15					

保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13			2	一度は参加してみたいです。	参加したいと思っていただけるような内容を設定していくとともに参加しやすい雰囲気を作っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1		1		相談や申し入れがあった際には、早急に対応していきます。また、相談しやすい雰囲気作りを行っていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	1				定期的にブログをアップしている事などをその都度お伝えしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			1		個人情報の取り扱い方について、どのようにしているかを教えていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1			年間を通して定期的にされています。	今後も年間の予定に沿って定期的に実施していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1		1		策定されているマニュアル等をお伝えしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			1	・小さなかがにもきちんと説明があり、安心している。 ・速やかに連絡してくれます。	事故等が発生した際にはマニュアルに沿いながら速やかに対応していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15				・絶大な信頼がある様子。 ・先生やお友達のことが大好きで楽しく通所できています。	今後も一人一人に寄り添いながら安心して過ごしていただける空間作りを行っていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	1			・帰ってきたら、楽しかったんだろうなと伝わってくるが、行くまでは「なぜ、僕だけ行くの？」と嫌がることがあるので、「どちらともいえない」にした。 ・楽しく通っています。 ・毎日の活力です。 ・レクリエーションを楽しみにしていて、毎回喜んでいます。	日々楽しみに通所していただけるようなプログラムを設定していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				いつも優しくしてくださり、感謝しています。	今後も保護者の方や利用者の方が安心して利用していただけるように支援をしていきます。